

# 進路たより



## 進路を考えよう

# 3年後のあなたは何してる？

山商生になって7ヶ月、まだまだ、卒業後のことを考えるなんて早すぎる…と思っている人も多いかも知れません。しかし、将来は何らかの職業に就いて生活をしていくことになります。そのとき、自分の興味や関心、適性に合った職業に就いて「毎日、仕事が楽しい！」と思いながら働くことができたら素敵ですよ。

そのためにも、就職希望の人も進学希望の人も、まだ決めかねている人も、1年生の段階から3年後の自分の姿を思い描いてみましょう。

## ○働くということ

みなさんは、「働く」ということの意味を今までに考えてみたことがありますか？

高校を卒業して働いている先輩たちに仕事に関する考え方を聞いてみると、「収入派」と「充実派」に分かれるようですが、どちらも大事なことですよね。

これらをもう少し具体的に述べると、「働く」ことは次のような側面があるともいます。

**(1) 経済的基盤 (収入を得て、生活や家族を支える)**

**(2) 自己実現 (やりがいを感じながら働くことで充実感を得て、自己の成長を促す)**

**(3) 社会貢献 (選択した役割を果たし、人と社会を支える)**

このうち、(1) (2) はまず第一に考えることだと思いますが、就職という道を選択するには(3)についてあらためて考えてみてほしいと思います。私たちの生活は社会なしには成り立ちません。「これからは自分も社会を支える一員になる」という意識を持ってください。皆さんが「社会人」になるためには、そういった意識改革が必要です。

また、そこには「責任」が必ず伴います。家族への責任、会社への責任、人への責任、そして社会への責任です。これらの責任に応えるための準備はできていますか。今一度、自分自身に問い直してみましょう。

## ○職種を選ぶということ ～職種、業種を考えよう～

世の中には、皆さんが知らない職業を含め様々な職業があります。自分の知っている職業だけでなく、いろんな職業にも関心を向けて、どのような内容の仕事なのか詳しく調べてみましょう。やりがいのある自分に合った職業を見つけたら、その職業に就くために卒業後、進学するのか、あるいは就職するのかを考えていきましょう。

ところで、将来の職業を考える上で、大切なのは「業種」と「職種」についても考えておくことです。では、「業種」「職種」とは何でしょうか。

業種とは企業が会社として行う仕事を指します。金融業、製造業、運輸業、販売業、宿泊業などがこれに当たります。業種を選ぶということは、社会を大きな神輿(みこし)に例えた時、あなたはその神輿のどこをかつぎたいのかということです。自分はどの分野で社会に貢献していくのかこれをまずしっかり考えましょう。

職種は会社の中で1人1人が受け持つ仕事を言います。一般事務、経理、組立、検査、フロント係、調理、整備、接客、販売・・・など数限りなくあります。職種をえらぶ時には、自分の能力や適性を最大限に発揮できる仕事は何なのか、よく見極めましょう。

## ○進学するという事

進学することはそれ自体が目的ではありません。「遊びたいから大学行くか〜」「友達も進学するし進学しよ」など考えではいけません。進学してから、さらにその先にある、卒業後に自分は何をしたいのかを見据えて、そのために何をどう学びたいのかという観点から考えていく必要があります。次の2つの項目について分析してみましょう。

### ①自分の興味・関心がある分野は何か

### ②自分の性格・特性・能力とはどんなものか

これらを分析することで、自分のやりたいこと、が明確になってきます。自分のやりたいことが明確になったら目標達成のためにはどのような学校に進学するべきなのかが見えてきます。

次のテーマで学校種について見ていきたいと思います。

## ○学校種を考える

校種には大きく分けて大学(短大を含む)と専門学校(各種学校を含む)の2種類があります。大学(短大を含む)は入学後に学んだことを卒業後にどう生かせるのかを時間をかけて考えながら職業を考えたい人に適しています。専門学校(各種学校を含む)は、すでに目標が明確であり、それに関係した職業に就くために勉強したい人に適しています。

以上の特徴がある中で、それらを詳しく分類すると次のようになります。

## ◇校種の種類

### 1. 四年制大学

専門分野の研究が目的であり、高度な内容を学習し、幅広い分野から選択して高度な内容を学習することができる。

### 2. 短期大学・短期大学部

教養＋実務的な力を身につけることができる。

### 3. 専門職大学・専門職短期大学

平成31年度に創設された、特定の分野の職業に就くために、質の高い内容を学ぶことができる学校。専門学校に大学資格を加えたイメージ。

### 4. 専門学校

特定の職業に密着した実務教育を受けることができ、特定の分野で即戦力となれる、知識や実技を学ぶことができる。

### 5. 各種・その他学校

上記以外の学校で、学校教育法に基づいているが専修学校の条件に満たない物が各種学校。学校教育法で規定されていない学校をその他学校として区別している。

以上の校種の中から、自分に適した校種を決めることができれば、次は具体的な学校選択の段階に入っていきます。進路資料室には学校のパンフレットなどの資料がそろっています。また、学校のHPを閲覧したり、オープンキャンパスに参加するなどして、早いうちに情報収集をはじめましょう。

## ○進学に必要な費用

みなさんは、進学するためにどれくらいの費用が必要になるのか知っていますか？ 進学先により、学費はかなり異なります。

### ◇受験にかかる費用

公立大学と私立大学は大学・学部などによって受験料が異なります。私立大学の場合は、大学入試共通テスト試験利用入試と一般入試とでも受験料が異なります。

平均的な受験料	
大学入試共通テスト試験（3科目以上）	18,000円
大学入試共通テスト試験（2科目以下）	12,000円
国立大学個別受験	17,000円
公立大学個別受験	17,000円
私立大学	35,000円
公立短期大学	18,000円
私立短期大学	30,000円

また、受験料の他にも、受験会場に行くための交通費や遠方であれば、宿泊等も追加で必要になります。

## ◇入学までの費用（初年度納付における平均額）

入学手続きとして、入学金、授業料（全期または半期分）、施設・設備費などの初年度納付金を納めなければなりません。私立大学は初年度納付金や年ごとの授業料などが、大学・学部によって異なります。

費用内訳	国立大（標準額）	私立大	私立短期大	専門学校
入学金	282,000 円	248,813 円	239,058 円	179,000 円
授業料	535,800 円	911,716 円	703,349 円	684,000 円
施設・設備費	必要に応じて	180,194 円	172,795 円	197,000 円
合計	817,800 円	1,340,723 円	1,115,202 円	1,060,000 円

※国立大学は文部科学省令による標準額。私立大学は文部科学省の令和元年度の学生納付金調査より

※専門学校は平成 27 年度東京都専修学校学校各種学校協会調べより

## ◇卒業までの生活費用（1 か月分）

進学して生活するにあたって、以上のような項目での支出が調査でわかっています。

1 年、または 4 年分として換算すると大きな金額になっていきます。

内 訳	自 宅	下 宿 生
食費	10,540 円	24,680 円
住居費	590 円	53,920 円
交通費	7,990 円	3,850 円
教育娯楽費	11,940 円	11,760 円
書籍費	1,680 円	1,700 円
勉学費	1,570 円	1,900 円
日常費	6,270 円	7,520 円
電話代	1,470 円	3,110 円
その他	2,070 円	2,310 円
繰越・貯金	18,850 円	14,300 円
合計	62,970 円	112,060 円

※令和 3 年度 全国大学生生活協同組合連合会調べより

## ○これからのコース選択について

将来のことを考えたあとは、今の自分のことを考えてみましょう。来年度のコース登録（本登録）が 11 月 11 日に迫ってきています。これから選択するコースによって取得できる資格などが違ってきます。取得する資格が変わってくると、進路先も変わってきます。就職・進学いずれにしても積極的に担任の先生や教科の先生に相談して、夢をかなえるコースを選択できるようにしましょう。